

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
公益事業論	3	後期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(なかたに ゆうすけ) 中谷 勇介	ユニプルーブを利用します。			

(英文科目名 Economics of Public Utilities)

### 授業の概要

公益事業と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。電気、ガス水道、鉄道…、公益事業とは読んで字のごとく、みんなに利益を提供する私たちにはなくてはならないビジネスを指します。これらのビジネスにはほかのビジネスにはない特徴をいくつか含んでいます。それは公営企業と規制産業という点です。はたして公益企業は公営企業という形がベストなののでしょうか。また公益産業は本当に規制で十分保護されたビジネスである必要があるのでしょうか。本授業ではこの2点に焦点を当て公益企業の「いまの姿」とこれから「あるべき姿」について、国内外における実際の企業ケースを取り上げて議論していきます。

### 科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。この科目では1年生次の「初級経済学」「中級経済学」で学んだ経済学の知識をベースにして、経済学の視点で公益事業の効率性や民営化の問題などについて分析を行います。2年次の学科専門科目である「経済政策」を履修することにより、本科目の内容をより深く理解することができます。また関連する科目として特に「ネットワーク産業論」があり、公益事業に関する経済分析を深めたい学生やインフラ産業に興味のある学生はあわせて履修することをおすすめします。

### ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	◎	公益事業の特殊性について理解し、公益事業における規制緩和と民営化の現状、およびそれが抱える課題について理解することができる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。		
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。	○	公益事業における公益性と効率性と所有(経営)形態の関係性について理解するとともに、公益事業の自由化や民営化が我々の市民生活にどのように影響するかを考察することができる。
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

### 授業の方法・講義手法の概要

講義

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	イントロダクション —公益事業とは	事前学修: 参考書[1]の第1章「公益事業の変遷と課題」を読み「公益事業の特徴」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「1. 公益事業とは」について復習し、演習問題を解く(90分)
2	公益事業と公的規制	事前学修: 参考書[1]の第2章「ネットワークの経済的特性と規制改革」を読み「規制とネットワーク外部性」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「2. 公営機事業と公的規制」について復習し、演習問題を解く(90分)
3	公営事業	事前学修: 事前配付資料「3. 公営事業」を読み、「公営事業の概要」について理解する。(90分) 事後学修: 配布プリント「3. 公営事業」について復習し、演習問題を解く(90分)
4	規制緩和と民営化(1) —民営化とは	事前学修: 参考書[1]の第3章「民営化の展開と構造改革」を読み「公企業の民営化」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「4. 規制緩和と民営化」について復習し、演習問題を解く(90分)
5	規制緩和と民営化(2) —3公社の民営化のケースから	事前学修: 事前配付資料「5. 規制緩和と3公社の民営化」を読み、「郵政事業の民営化の歴史とその概要」について理解する。(90分) 事後学修: 配布プリント「5. 規制緩和と3公社の民営化」について復習し、演習問題を解く(90分)
6	規制緩和と民営化(3) —郵政民営化のケースから	事前学修: 事前配付資料「6. 郵政民営化」を読み、「郵政事業の民営化の歴史とその概要」について理解する。(90分) 事後学修: 配布プリント「6. 郵政民営化」について復習し、演習問題を解く(90分)
7	前半のまとめと確認	事前学修: 事前配布プリント「8. 中間のまとめ」を読み、前半の授業内容について復習をする(90分) 事後学修: 配布プリント「7. 中間のまとめ」について復習し、演習問題を解く(90分)
8	電力自由化(1) —電力事業の特徴	事前学修: 参考書[2]の第1章「電気事業」を読み「電力事業の特徴」について

		理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「8. 電力事業」について復習し、演習問題を解く(90分)
9	電力自由化(2) —エネルギー産業をこえた大競争へ	事前学修: 参考書[1]の第5章「電力」を読み「電力事業の国際比較」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「9. 電力事業の自由化」について復習し、演習問題を解く(90分)
10	水道事業の自由化	事前学修: 参考書[2]の第2章「水道事業」を読み「水道事業の特徴」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「10. 水道事業の自由化」について復習し、演習問題を解く(90分)
11	通信自由化(1) —通信事業の特徴	事前学修: 参考書[2]の第4章「電気通信事業」を読み「通信事業の特徴」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「11. 通信事業」について復習し、演習問題を解く(90分)
12	通信自由化(2) —通信事業の自由化	事前学修: 参考書[1]の第7章「電気通信」を読み「電気通信事業の市場変化」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「12. 通信事業の自由化」について復習し、演習問題を解く(90分)
13	航空事業の自由化	事前学修: 参考書[2]の第7章「航空事業」を読み「航空事業の特徴」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「13. 航空事業の自由化」について復習し、演習問題を解く(90分)
14	公益事業とグローバル競争	事前学修: 参考書[1]の第15章「公益事業のグローバル展開と国際競争力」を読み「公益事業の国際展開」について理解する(90分) 事後学修: 配布プリント「14. 公益事業のグローバル展開」について復習し、演習問題を解く(90分)
15	まとめ	事前学修: 事前配布プリント「15. まとめ」を読み、14回目までの授業内容について復習をする(90分) 事後学修: 配布プリント「15. まとめ」について復習し、演習問題を解く(90分)

①コメントカード(30%)、②期末レポート(70%)。

指定教科書

特になし

参考文献等

参考書[1]: 塩見英二編(2011)『現代公益事業 ―ネットワーク産業の新展開』有斐閣

参考書[2]: 鳥居昭夫、岡田啓、小熊仁著(2017)『自由化時代のネットワーク産業と社会資本』塩見英治監修、  
八千代出版

その他参考文献については授業内で適宜紹介します。

履修上の留意点

特になし

実務経験